

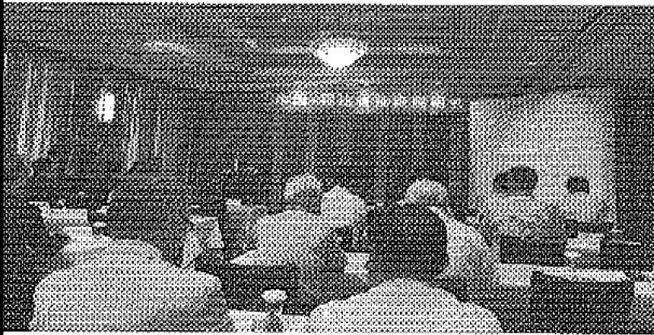
「日本と提携し発展を」

中国・福建省 投資説明会開催

中国福建省商務庁は
今月3日、都内で中
国・福建投資説明会を
開催し、福建省の養老
産業の投資環境や最新

の政策などについて紹
介した。

福建省の繆振堂研究
員によると、福建省に
は養老施設が212施
設あり、そのうち84施
設が国営、128施設
が民間施設だという。
また、病床数は約17万
8000床。中国は2
020年までに、10
00人あたりの病床数
を6床に改善させるこ
とを目標としている
が、同省でも4・62床
で、その数には達して
いない。今後ニーズが
急増する養老・医療産
業の発展に向け、同省
では様々な施策を打ち
出している。



▲福建省の現状や政策などが紹介された

しかし、養老・医療
施設だけでなく、医療
品や医療機器メーカ―
の事業規模やノウハウ
が追い付いていないの
が課題であるという。

このような状況を踏
まえ、繆振堂研究員は
「外国の医薬品・機器
メーカ―や医療関係団
体などと協力して事業
展開することで、医療
分野における潜在力を
発揮していきたい。日
本の皆様に福建省に観
光・見学・投資をして
いただき、提携を展開
していきたい」と日本
の参加者に呼びかけ
た。

イベントの協賛をし
た一般社団法人日中医
療福祉交流協会（東京
都港区）の柴崎利雄代
表理事は「日本の経験
を中国で活かせられれ
ば、回り道をする必要
がなくなる。日本に
とっては、ビジネス拡
大のチャンスになるだ
ろう」と挨拶した。